

49 巻 (2016 年)

7 号 (11-12 月号)

研究の意味 多領域とともに考える

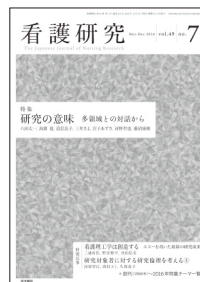
研究の意味—社会的価値, 学術的意義, 個人的意味 八田太一／ケアの実践のための研究はなぜ容易でないのか? 島蘭進／健康と医療の人類学 道信良子／生活モデルへの転換と看護職 三井さよ／臨床で働く腹をくくった看護師にとっての研究のもつ意味 宮子あずさ／哲学の意味と看護 河野哲也／看護研究が医師にとって意味あるものとなる場面 藤沼康樹

特別記事 ●

【看護理工学は創造する—エコーを用いた最新の研究成果】

三浦由佳／野寄修平／真田弘美

【研究対象者に対する研究倫理を考える④】 河原智江, 西村ユミ, 久保恭子

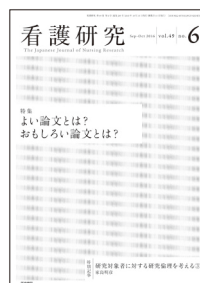


6 号 (9-10 月号)

よい論文とは? おもしろい論文とは?

大西麻未／落合亮太／掛田崇寛／萱間真美／グレッグ美鈴／坂下玲子／心光世津子／辻村真由子／西村ユミ／福井小紀子／松岡千代／宮下光令／山本則子／山勢博彰／吉野八重 (五十音順)
座談会「よい論文とは? おもしろい論文とは?」
小松浩子／グレッグ美鈴／秋元典子／山本則子

特別記事 ● 【研究対象者に対する研究倫理を考える③】 家島明彦



- 5 号 (7-8 月号) 介入研究をどう進めるか
- 4 号 (増刊号) 看護と哲学—共同がもたらす新たな知
- 3 号 (5-6 月号) 看護におけるシステムティックレビュー
- 2 号 (3-4 月号) 看護学の発展にとっての理論構築—Transitions Theory からの展望
- 1 号 (1-2 月号) 混合研究法が創る未来—第 1 回日本混合研究法学会学術大会より

48 巻 (2015 年) もご覧ください!

- 7 号 (11-12 月号) 査読を考える—査読ガイドラインの構築に向けて
- 6 号 (9-10 月号) 現象学を語る
- 5 号 (7-8 月号) NP 教育の成果を探る—自律した Health Care Provider をめざして
- 4 号 (増刊号) 大学院で学ぶ意味—新たな看護を創るために
- 3 号 (5-6 月号) 医療権力論—看護界・医療界はいま
- 2 号 (3-4 月号) 遠隔看護とイノベーション—在宅医療の新展開
- 1 号 (1-2 月号) 看護研究から政策をうみだすために